



公益社団法人 企業メセナ協議会

108-0014 東京都港区芝5-3-2
アイセ芝ビル 8階
phone 03-5439-4520 facsimile 03-5439-4521
www.mecenat.or.jp

2018 - No. 01 2018年2月14日

「SOMPO アート・ファンド」第3回助成決定 全国の個性豊かなアートプロジェクト・芸術祭等を支援

損害保険ジャパン日本興亜株式会社(以下、損保ジャパン日本興亜)はこのたび、「SOMPO アート・ファンド」の第3回の選考を行い、全国の個性豊かなアートプロジェクトや国際的アートフェスティバル等、計16件の芸術・文化活動を採択しました(採択活動一覧を別添)。

当ファンドは、芸術・文化により活気ある未来を創造したいという損保ジャパン日本興亜の思いを実現するため、公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝5-3-2、理事長:尾崎元規)の「2021 Arts Fund(正式名称:2021芸術・文化による社会創造ファンド)」(※)の仕組みを活用し、当協議会がコーディネート、協力を行っているものです。未来の文化創造に貢献し、人々のクリエイティビティを高める芸術・文化活動を対象に、2016年より計38件への支援が実現しています。

<「SOMPO アート・ファンド」第2回助成活動画像>

ヒューマンセレブレーション
三陸国際芸術祭 2017



新宿発! 欧州人形劇の旅
「世界の人形劇の交差点」



写真:あがたせいじ

「ベップ・アート・マンズ 2017」及び
「西野 達 in 別府」



西野 達「油屋ホテル」2017 撮影:脇屋伸光



SOMPO アート・ファンドとは

損保ジャパン日本興亜が文化・芸術の振興を通じた豊かな社会創造を目指し2016年6月に設置したファンド。創造性にあふれた「未来の社会づくり」という視点を重視し、当協議会の「2021 Arts Fund」(※)を活用し、パートナーを組んで運営しています。

▶URL <https://culfun.mecenat.or.jp/grant/sompo>

◆支援対象:

- (1) 未来の文化創造に貢献し、人々のクリエイティビティを高めていくような文化・芸術活動
- (2) 地域の魅力を顕在化させ、その独自性を発揮していくような文化・芸術活動
- (3) 文化による国際交流、および多方向性ある文化交流を促すような文化・芸術活動
- (4) その他、文化・芸術による社会課題の解決および社会創造に寄与する活動

「2021 Arts Fund」とは

2020年とその先を見据え、芸術・文化に対する社会的投資や寄付の促進をはかるべく、寄付者の目的をかたちにするファンドとして2014年より当協議会が運営しています。

▶URL <https://culfun.mecenat.or.jp/collect/2021artsfund/>



【関連企画：ネットワーク・ミーティング】

2018年2月下旬、「SOMPO アート・ファンド」助成団体とのネットワークづくり等を目的に、「ネットワーク・ミーティング」を下記の通り開催いたします。ご取材をいただけます場合は、下記広報担当までご連絡ください。

- ◆日時：2018年2月27日(火) 14:00～17:00(予定)
- ◆会場：損保ジャパン日本興亜新宿本社ビル(東京都新宿区西新宿1-26-1)
- ◆対象：「SOMPO アート・ファンド」第2回、第3回助成団体

<p>【本件に関するお問い合わせ先】 公益社団法人企業メセナ協議会 広報：末澤／助成：佐藤(華)、三田、栗田 TEL:03-5439-4520 FAX: 03-5439-4521 E-mail:mecenat@mecenat.or.jp 〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8階 URL: http://www.mecenat.or.jp</p>
--

企業メセナ協議会「SOMPO アート・ファンド」第3回助成活動 一覧

No	活動名/活動団体名/開催時期/開催場所	活動概要
1	飛生芸術祭	廃校後、荒れ果てた小学校の裏の森を整備して、再び人々や鳥たちが集える場所をつくる「アートと森が共存する森づくり」をきっかけに始まった芸術祭。森を中心に、地域住民とアーティストが参加しつながら野外展示作品の制作「飛生の森づくりプロジェクト」をはじめ、招聘アーティストの作品展示や上演を実施する。
	飛生アートコミュニティー(北海道)	
	2018年9月8日(土)～9月16日(日)	
	飛生アートコミュニティー、旧謡内旅館と白老駅前周辺	
2	ヒューマン・セレブレーション 三陸国際芸術祭2018 NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (京都府)	文化芸術による復興と新たな芸術文化の創出を目的に、三陸沿岸の風土と歴史から生まれ、生活に寄り添う芸術「郷土芸能」の紹介と三陸の人々が主体となるダンス・演劇作品の創作・発表を行う。郷土芸能の魅力の再発見と内外への周知を果たすだけでなく、表現活動をとらえて強固なコミュニティと豊かな地域生活を築くことを提唱する。
	2018年8月4日(土)～10月31日(水)	
	宮城県気仙沼市、青森県八戸市、岩手県大船渡市、釜石市、福島県いわき市、東京都	
3	川俣正/仙台インプロGRESS・新浜	世界各地で住民との協働を数多く展開してきたアーティスト川俣正氏による震災を受けた仙台で復興と向き合っていくためのプロジェクト。明治期に造られた町内に流れる「貞山運河」を海側に渡るための人道橋となる作品「みんなの橋」を数年かけて制作する。
	公益財団法人 仙台市市民文化事業団(宮城県)	
	2018年4月1日(日)～2019年2月28日(木)	
	貞山運河、新浜みんなの家、せんだいメディアテーク	
4	プロジェクトFUKUSHIMA! 特定非営利活動法人 プロジェクトFUKUSHIMA (福島県)	福島からの文化発信を基軸に、「福島大風呂敷」やオリジナルの盆踊りと、プロフェッショナルなミュージシャンと一般市民が混在するオーケストラFUKUSHIMA!の活動を組み合わせ、自分たちの手で祭りの場をつくる「フェスティバルFUKUSHIMA!」を柱にプロジェクトを展開。学びの場をつくる「スクールFUKUSHIMA!」やインターネット放送「DOMMUNE FUKUSHIMA!」など多様な広がりのある活動を年間を通して行う。
	2018年8月11日(土・祝)～8月12日(日)	
	福島県福島市	
5	世界ゴールド祭	世界各国のアーティスト、専門家、舞台芸術を実践する高齢者たちが埼玉に集い、発展的かつ持続可能な展開を目指して相互に学び、課題や知識を共有するプラットフォーム形成を目指し、国内外に向けて高齢社会の豊かな可能性を発信していく。高齢化が喫緊の社会課題である欧州・アジアの4カ国(日本、英国、豪州、シンガポール)における先進的な活動を、各国の高齢者による舞台公演「さいたまゴールド・シアター」と日英の演出家との共同制作、専門家によるシンポジウムやワークショップ等を通して紹介する。
	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(埼玉県)	
	2018年9月24日(月・祝)～10月8日(月・祝)	
	彩の国さいたま芸術劇場 ほか	
6	新宿発信!世界の人形劇の旅 「アート体験!国際フェスティバル」	世界最大のターミナル・新宿駅に直結する新宿高島屋1階JR口特設会場に、世界的な芸術家を複数同時に招聘。日本人アーティストと協働し、人形劇・バントマイム・大道芸・日本伝統芸能等の芸術体験をあらゆる人々が参加できる国際的文化交流スポットを出現させ、「新宿!体験アート国際フェスティバル」を開催。また招聘するチェコ・ピルゼン市の「アルファ劇場」による本格大型作品「三銃士」は都内3会場、全国7都市のツアー公演を実施する。
	有限会社 プーク人形劇場(東京都)	
	2018年7月23日(月)～8月25日(土)	
	プーク人形劇場ほか	
7	Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018	「横浜らしさ」が発揮される横浜の「街」そのものを舞台としたダンスフェスティバル。世界のトップレベルのプロダンサーによる公演にはじまり、公募の市民ダンサーや子どもたちを対象としたワークショップなどの市民参加事業まで、幅広いプログラムが多数展開され、期間中は横浜のまち全体がダンス一色に染まる。
	横浜アーツフェスティバル実行委員会(神奈川県)	
	2018年8月4日(土)～9月30日(日)	
	横浜市内全域(横浜の「街」そのものが舞台)	
8	水と土の芸術祭2018	信濃川と阿賀野川という二つの大河が運ぶ「水と土」から生まれた新潟の豊かな暮らしと文化を掘り起こし、先人たちが不屈の精神と創造性を発揮し、水との闘いの中でつくり上げてきた新潟市の成り立ちを見つめ直し、未来を考えるきっかけとしたいという思いが込められている国際芸術祭。「水と土の文化創造都市」を推進する。
	水と土の芸術祭2018実行委員会(新潟県)	
	2018年7月14日(土)～10月8日(月・祝)	
	「万代島旧水揚場跡地、新潟市芸術創造村・国際青少年センター(旧二葉中学校)ほか	

9	無人駅アートプロジェクト	静岡県島田市から川根本町に路線を有する大井川鐵道は島田市にある13駅中8駅が無人となっている。その無人駅を作品制作及び発表の中核とし、「無人と呼ばれる場に息づく人々の姿」をテーマに、地域が有する記憶や風景、営みを国内外から公募し選定・推薦されたアーティストが表現する。地域づくりの新たな取り組みとして実施するアートプロジェクト。
	特定非営利活動法人 クロスメディアしまだ(静岡県)	
	2019年3月1日(金)～3月17日(日)	
	大井川鐵道無人駅各駅	
10	京都:Re-Search	アーティスト、工芸家、デザイナー、建築家などクリエイティブな分野で活動している人が京都府内市町村に滞在しながら、各自が設定したテーマに沿って、地域の風土や歴史を調査し、そこでの発見を生かしたアートプロジェクトや作品プランを構想する。
	京都:Re-Search実行委員会(京都府)	
	2018年8月20日(月)～2019年3月10日(日)	
	京都府京都市田辺市、京丹後市、亀岡市	
11	アートを媒介とした新しい地域コミュニティ創出の実験(仮)	廃校を活用したものづくりの場としての「作業場」を実施。また、プロジェクトの次なるフェーズとして、福祉、教育、環境、食、まちづくりなど多様な領域との連携・協働の仕組みをつくり、アーティストや地域住民らと創造活動を行う。
	プレーカープロジェクト実行委員会(大阪府)	
	2018年4月1日(日)～2019年3月31日(日)	
	大阪府	
12	六甲ミーツ・アート 芸術散歩2018	アート作品自体の魅力伝えることはもちろん、それに加えて六甲山の持つ豊かな自然環境及び、眺望、夜景、歴史、文化等のさまざまな魅力や、知られざる潜在的な価値等を現代アートを通じて、体験・体感していただく展覧会。また、一部作品を公募することで今後の活躍が期待されるアーティストの発掘にも力をいれている。
	六甲山観光 株式会社(兵庫県)	
	2018年9月8日(土)～11月25日(日)	
	六甲ガーデンテラス、六甲鉱山植物園、六甲オルゴールミュージアムなど六甲山上10施設	
13	平和の舞ーひろしま神楽と ＜”オロチ”神楽とオーケストラの協演＞	2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、広島県民・市民の共有の財産である伝統神楽「ひろしま神楽」と創作神楽「オロチ」火と水への讃歌ー神楽とオーケストラのために(ひろしま神楽と広島交響楽団のコラボレーション)の公演を広島市、廿日市市、安芸高田市、三原市、安芸太田町、北広島町の6市町合同で実施。神楽による鎮魂と奉納を原意にひろしまから平和への希求を世界に向けて発信する。
	広島市文化協会(広島県)	
	2018年8月18日(土)～19日(日)	
	JMSアステールプラザ大ホール	
14	神山アーティスト・イン・レジデンス2018	国内外からアーティストを招聘し、作品制作、住民との交流をおこなうとともに、アートを生かした町の活性化へとつなげる。 2018年度はこれまでに神山AIRに参加したアーティストを再招聘し、その後の制作活動や神山での滞在制作がもたらした影響を検証するトークイベントを開催。長期にわたり継続してきた神山AIRの成果を共有し、今後の方向性についても熟考する場とする。
	神山アーティスト・イン・レジデンス実行委員会(徳島県)	
	2018年8月23日(木)～11月5日(月)	
	徳島県名西郡神山町	
15	「ベップ・アート・マンス2017」及び「アニッシュ・カプーア in BEPPU」	「ベップ・アート・マンス」は別府で催される展覧会や公演、参加体験型イベントなど、さまざまな文化事業を紹介し、開催を支援する登録型のプラットフォーム事業。市民の主体的な参画を促進する。また、「アニッシュ・カプーア in BEPPU」は、アニッシュ・カプーア氏の国内では初の本格的な個展となり、新作を含む3～4点を展示する。「in BEPPU」では毎年選抜されたアーティストの個展を開催し、質の高い芸術作品を市民が触れられるようにしている。
	「混浴温泉世界」実行委員会(大分県)	
	2018年10月6日(土)～11月25日(日)	
	大分県別府市(各所)	
16	水の森アートプロジェクト(仮称)	「国民文化祭おおい」開催にともない、全18市町村の独自性を生かした連携企画として実施。日田市においては、国際的に活躍する大巻伸嗣氏のインスタレーション展示をリーディング事業と位置付け、天領地であった特殊な歴史的背景と、山に囲まれた盆地と、多くの河川が流れ込む「水郷」を形成する地域性から、「水の森」をテーマに市民参加型のアートプロジェクトを展開する。
	第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭日田市実行委員会(大分県)	
	2018年10月6日(土)～11月25日(日)	
	大分県日田市複合文化施設ほか	